

航路標識

0446

航工第二八〇番 通修

二十二年二月廿

官房受

海軍 省

航路標識管理

航路標識管理

神埼燈台用字燈台之事 取成ノ付

客年三月暴風燈台之依本燈台之近之燈台之事 遂

功之有之 必要ノ書案ノ通ノ事ノ事ヲ見込ニ付 及
通到也

本局

軍務局

第二課

建本第一九二號

共第二號

0447

建本第一九二號

軍務局

通傍 二八〇

通傍

二十二年二月

航路標識管理所

海軍省

神埼燈台見守部員之事

客年三月暴風見守部員依本燈台近之燈台工事

功之有るに於て書留し通し云ふ事を見込

可通也

第三號

横濱市

航路標識管理所

0448

0447



海軍 模造半葉十三行風紙

軍務局

第二艦隊

局長

二月十三日

軍務局長

第二艦隊参謀長宛

二一三九

電報

暗号

二月十三日午前二時五分發電済

大ノ通ハコトヨリ電報アリタリ

一、別紙
二、入ル

0449

海軍

横濱牛車十三行部紙

樽石川(河)ヨリノ庚辰活

二月十日(日)ノ為ニ電

庚辰報(文)

一(西水(道))、(ヨリカ)水道ノ般路(樽石川)全(部)完成ス

二(オホカ)ス(イカ)水道(一)全(部)見(修)止(中)一(日)迄(二)完成(見)ス

(宮井納)

0450

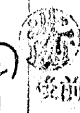
軍務局

大正七年二月十四日

午後

時分

局



受信者

南洋拓殖先任部

時分

局

受信者 軍務局

電報譯

航路標識 其之船隊司令部 取締方 申
中 越し 通し 取計 詳細 其之船隊 申
一通 申し 送し たり

二月十四日

海軍

海軍省

0451

特 第二艦隊機務第一區 號

大正十二年一月二十五日 三回九沙 遊艇全副

第二課 中村第二艦隊參謀長

大角海軍少佐務方為長致

航路標識開示書類件

本件 一月二十日南洋群島駐在武官宛已

發送 送清二候為念

右角 知又

給

12. 1. 21

軍務局長

0452

海軍

模造平葉十三行算紙

軍務局長



第二艦隊



司令



二月四日

大正十一年一月十四日 軍務局長

第二艦隊 参謀長宛

二月四日

二月四日

光陽ヨリ南洋群島在勤武官宛航路標識関係
書契托送ノ大和丸ハ二月下旬ナリハ一ハラオニ到着
セカ見込ニ付オ局ヨリ不取敷関係固而等島送
セカ光陽ヨリ更ニ必要書契オ公弁送アリタレ
以テ前丸一月三十日ナリオ二月十日ハラオ着ノ
事ナリ

(富井納)

0453

2

軍務局長



第二十二号



海軍



第二十二号

海軍

模造半葉十三行紙

大正五年一月二十日 軍務局第一課長
南洋群島在勤武官宛

電報

一月二十日 定案
一月二十日 南洋群島在勤武官宛

航路標儀関係書失知事九便ニ送ル

以て送付丸三日十日八日等

南洋群島在勤武官宛書失知事

郵送一ノ下

(密封)

0454

大正十一年一月

九月五日 午後 六時 五分 海軍省 發

第二課

九月四日 午後 七時 四分 海軍省 著

第一課

發信者 南洋群島を勤後化す

軍務局 謹言

受信者 軍務局長 菅原 謙吉

12. 一月九日

電報譯

南洋群島を勤後化す 馬島報

軍務局長 菅原 謙吉 馬島報

航路標識 二月廿日迄経過セザルニトハ 協儀尚ナリ

下和丸便ニテ 菅原 謙吉 隊司令 如 友ヨリ 榮送 サレタレ 一件

書類 二月下旬 二アラサレハ 到着セザル 見込ニ 竹取 散ス

菅原 謙吉 一行 勤後 隊司令 如 友ヨリ 榮送 サレタレ 一件

項式 報ニテ 如 友ヨリ 榮送 サレタレ 見込ニ 竹取 散ス

便ニテ 更ニ 送ル 様 申取 計ヲ 得度 一月廿二日

(宮井 納)

0455

機密 第一

二 番電報

軍務局長 第二課長

局長

海軍

横濱牛乳十三行紙

大正十二年 月 十三日

ハコノノ電報 在島軍官官

電報 暗號

局長

一月十三日 起業

平瀬士郎五〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

第一艦隊 二月二十五日 貴地ノ泊ノ予定 此際 西水角 川舟

(用) オレを多水角、輕心用、アラカル水道 (輕心艦用) 三航

踏標識ノ後 旧新設ノ要スルニツキ 至急 莫施カニ 南洋廳 莫施カニ

ニ置ケリ 貴官ハ 貴地ニ 該官憲ト 協同シ 作業ノ 進捗ノ 度ニ

度カアリシ、一件書 頼用 留共 本報 横須賀 榮ノ 大和丸 便ニテ

第一艦隊 司令部ヨリ 貴官宛 宛送セリ、

送

(宮井)

0456

三三三

軍務第一二號

軍務局長 官

第一二號 官

海軍

模造平葉十三行部紙

大正十二年一月十三日

局長

堀口南洋總拓殖部長宛

南洋群島航路標識ニ関スル件

月一日起 案
月十三日 發行

所々船舶ノ入泊ヲ要スル事可有之ヲ定ニ候条本群島ニ月中旬頃迄ニ作業ヲ完了シ得ル様左記ノ内ニ至急御配慮相煩上度
右照会ス

一、パライオシ名水道、西水道、コオグルタクル水道、コマシル水道ニ
ニ並テ海圖記載ノ仕置ラニ航路標識ノ復旧及新設

右ノ何レモ確實ニ海圖記載仕置ニ設置ヲ要シ就津村面

(宮井納)

0457

中〇切ノモノハ顯著ニ標識ニ必要トス

ニコハラオ、ヨルレイ、トラック、サイパニニ在ル各航路標識ノ現状調査

本件ハ最近ノ事^ハ知致度ニ付在コハラオ貴廳ニテ電報^ハ令々希望ス

三茅一頃ノ施設ニ關シテハ完了次第順次ニ本局ニ御用知方相煩々度

附誌

在コハラオノ舞在海軍士官ノ手許ニ最近使テ別紙附圖^等送^付ニ付念申添候

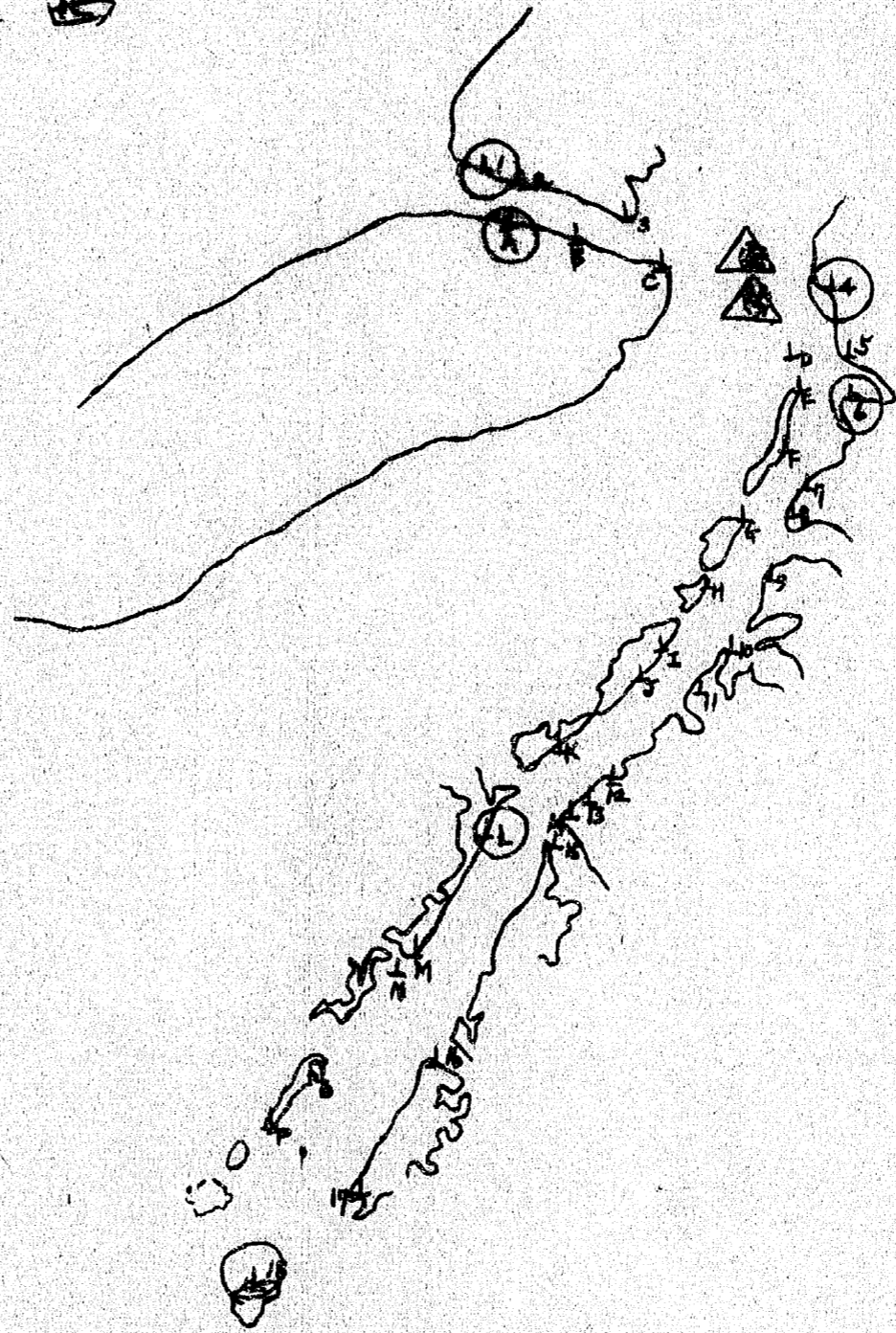
終

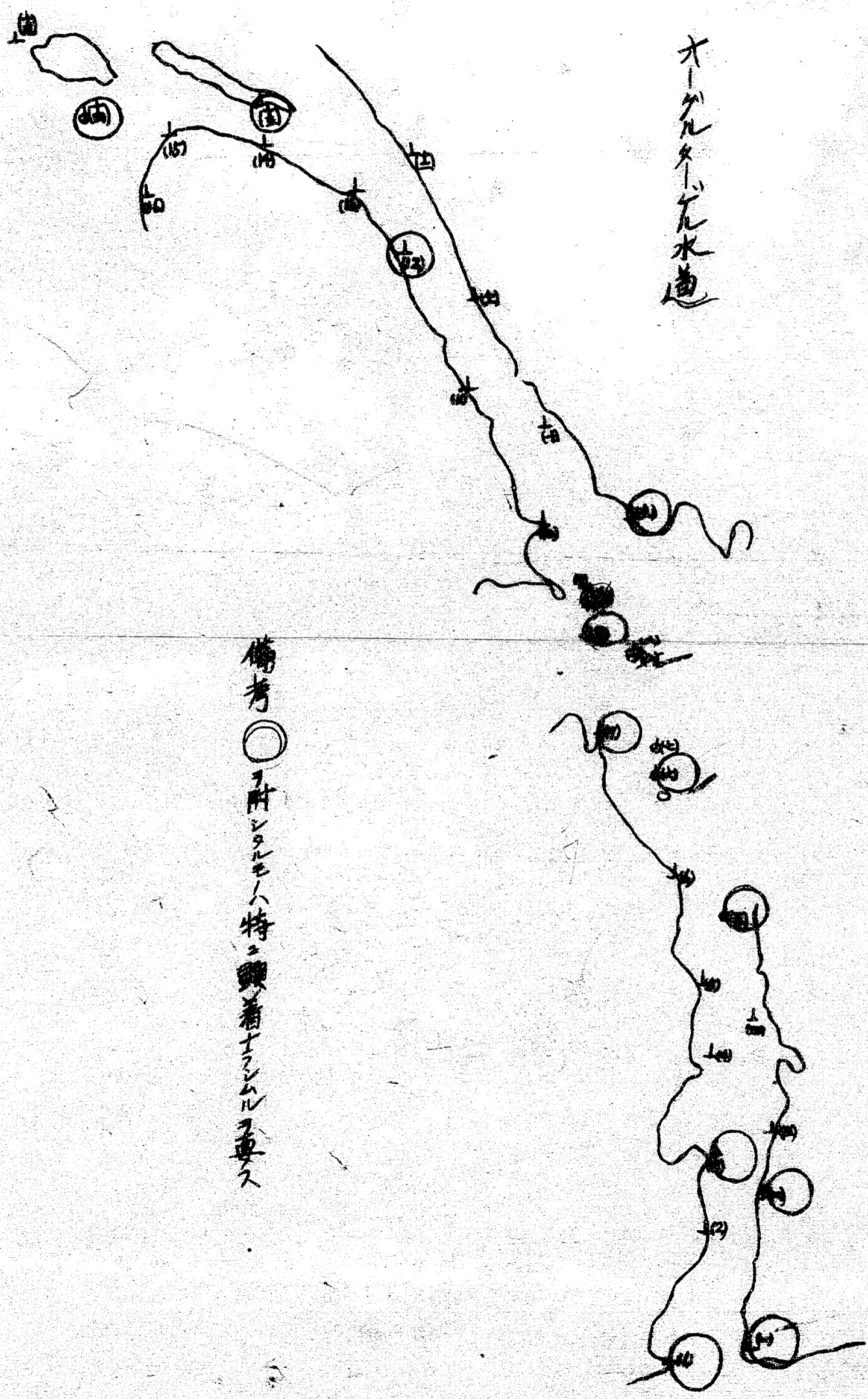
(宮井納)

0458

西水道

備考一、西側モノ東側ノモノモ重ナク置ラ
要ス
二、○ヲ附シモノ特ニ頭着ナク置ラ
三、△ハ出来得バ立標若ハ浮標ノ設置
ヲ望ム





オイガワ・カニガハ川水道

0460

備考 ○ 下附シヨルモ人特ニ顯著ナリシムルヲ要ス

機務
第
一
號

大正十二年一月十三日

塘口南洋廳拓地部長殿

北國局員

南洋群島航路標識之圖を件として

月十三日發行

本件之圖は昨日御函該ノ際申上置候通別件より貴官宛に於て御以令申上候事可然御收計に相煩之度候

尚其際御了解得置候通ニ貴官より南在の才事より廳迄電報ハ施記案ノ類より以テ御糸電願ハルハ好都合ト事候糸借越ナカク御許得テ起事御返附申上候

右記(電報)

近々海軍艦艇ハ三ノ入港ノ運ハたヤ事計起テ西北角

海軍 模造平葉十三行紙

0461

海軍 模造半葉十三行紙

コルム多ク水道、整カル水道 航路標識全部ノ復旧新
設方協展ニ未レリ、本件ハ一月中旬頃迄ニ完了、要ル由ナリ
可然御取計ニ付、尚本件ニ關スル詳細ノ事項ハ貴地駐在
海軍士官飛知シ居ル等也。

（印）

富井 納

0462

寫、海軍省軍務局第二課、横須賀鎮守府
拓殖局第四課

附外第 〃 號

日本郵船株式會社

社長 伊 東 米 治 郎

軍務局接受

南洋廳長官

第三課

手 塚 敏 郎 殿

12. 1. 21

軍務局

大正十二年一月廿日

南洋西廻線第十四定期今航筑前丸

各地發着日取ノ件

右別紙ノ通り取極メ申候間御了承被下度此段御届申上候

追而本船貴命ニ仍リ今往航ニ限リ「アンガウル」へ寄港ノ事ニ

致候間併テ御了承被下度候

敬 具

日本郵船株式會社

0463

南洋西廻線茅田定期期

0464

横濱	ヤツパ	ヤツパ	ハラオ	メナード	茅田	メナード	アインワル	ハラオ	ヤツパ	ヤツパ	ヨシ	ヨシ	横濱
着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着
前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
三月五日	廿七日	廿四日	廿三日	廿二日	二月十九日	二月十七日	十四日	十四日	十日	十日	八日	二月五日	二月廿六日

軍令部

軍務局長

第二軍

海軍

陸海軍省

大正十二年二月二十一日

軍務局長

第二艦隊參謀長
聯合艦隊參謀長

電報

暗號

二月二十日起
午後一時

パライ水道、航路標識修築工事ハ本月二十日全
部完成、七日日本日在「パライ」南洋本艦ヨリ電報アリ

第三班

右本日午、前槽若中佐、南洋艦中、展所、了、電報アリ

軍務局長

0465

大正十二年六月二十一日午後十時十八分

臨時海軍隊備隊司令



第一課 海軍次官
第二課 軍令部次長

臨時海軍隊機密第九十四番電

間宮海峡ノ航路浮標設置ハ只今北水道ノ

一部ヲ残スルニ霧晴レ次第作業終了ノ予定

右航路浮標設置後初航船ハ浦潮ヨリ亞港ヲ

經テ六月十八日尾港ニ入港シタル露國大形汽

船「オレク」ナリ

尚間宮海峡ノ航行、尾港泥港入港ニ関シ

水先人又ハ入港稅等協定御通報ヲ願フ

六月二十一日

26/

紙 罪 案 起

旅路標識

大正十二年十月一日 起案

捺印

月

日發付

捺印

發付後起
案者捺印

經理印
起案 野 紙印

主務 軍務局長

大臣

副官

藤田

次官

參事官

R

軍需局長

第一課長

R

經理官

第二課長

第三課長

第四課長

事務

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	事務	經理	附務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
													十月一日	受月日 發月日

大正十二年十月一日
臨時備隊司令部

次官

第大驅逐隊、栗橋、貴船丸代志丸ヲシテ便宜

番

官房第一〇二番電報

事

價

0467

ノ時期本年度設置ノ南宮海峽南北水道、樺
太水道、航路標識全部ヲ撤收セシメ横須賀

ハ輸送方取計ニ度

依年

大正十二年十月

軍務局長

横鎮參謀長宛

機密第六号

南宮海峽方面航路標識撤收ノ件

撤收 十月一日 發行

本件ニ関シ本日附別紙ニ通大湊要港部司令官、臨
時防備隊司令官電訓セシ候條御了知相成度

右ノ用紙ニ

別紙 添

終

終

0468

符 箋 紙

大正 年 月 日

海軍省軍務局

0469

Handwritten text in cursive script (kuzushiji) inside the document frame.

大正十二年四月二十三日 起案 捺印

五月

日發付

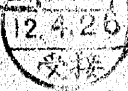
捺印



大臣	軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
														四月廿四	受月日發月日

七人負並函

0470



符 箋 紙

大正十二年四月二十三日 起案 五月

軍務局長 第二課長

大臣

次官

總務部長

第一部長

軍需局長

第一課長

經理局長

第二課長

大正十二年五月一日

横鎮長

大臣

今回臨時海軍防備隊之臨時増員七人負並

官房第一五二

毎

軍令	水路	陸建	教育	造兵	技術	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
													四月廿五日	受月日

0470

12.4.26 接受

12.4.26 接受

12.4.26 接受

増員七人負並出

大臣

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
													四十五音	受月日
														發月日

發付捺印
 12.4.2
 發付後起
 案者捺印
 12.4.2
 本艦
 12.4.2
 受接

0470

紙 箋 符

大正十三年四月廿三日
 海軍省軍務局
 五月一日附祭者ノトシ取付シテ交

0471

貴舟夫ハ内宮海峽南其水道權大、水道航路標識ノ没置補修並ニ撤収
 著ニ從事セシムヘキニ付其ノ府関係部ヲシテ同作業ニ要スル物件
 (艀)管需用燃料ノ除クヲ供給セシムヘシ費用ハ臨時軍事費
 支辨トシテ請求ノ俟テ別途ニ配布ス
 右訓令ス

終

報文記納

0472

大正十二年四月二十三日 起案者 捺印 五月 日 發付 捺印

主務 軍務局長

大臣 淺

次官

總務部長

第四部長

經理局

第一部長

大正十二年五月一日

横鎮長官宛

大臣

其府港務部長より舟夫四名、臨時海軍所備隊

號番

官房 一五九

海

直

局、部	官房	軍務	人事	艦政	機關	醫務	經理	法務	技術	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受月日	受月日													
發月日														

0473

臨時海軍房備隊

大臣

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
													受月日	發月日

日發付
捺印
發付後起
案者捺印

12.4
接

12.4

12.4
受

馬案單紙甲

0473

紙 箋 符

大正十一年四月廿三日
海軍省軍務局
五月一日附發布ノコトト取付ルニ付

0474

派遣之同隊司令命之兼之服放セシム

但^{要橋便}所^便要^{無ト}経費ハ臨時庫事費支辨ノ下高作業中

服業ヲ要スル場合ハ同隊司令命之通宜處理スル

心得ヌ

右訓令ス

終

大正十一年

綴文社納

0475

65

軍務局長

第二課長

大正十二年七月十日

軍務局長

木曾 艦長宛

本曾機密第九五號ノ件ノ旨ニ付通南洋軍艦ヨリ回

答アリケリ

一、ハラオト西水ノ道ノ航路標識ハ完全ニシテ航行上支障

ナシ

ニ、英領コタラワレ及コギニカ面ノ出入港及航泊ニ関シ調

海軍

横造半葉十三行部紙

七月十一日起
七月十一日發

七月十一日起
七月十一日發

(密非抄)

0476

查方カールト支徳ニ移牒セリ

海軍

模造半葉十三行部紙

録

松井納

0477



宣務局

移第...
四...
六...
號

親第五號ノ二

大正十二年七月十日

南洋廳出張事

第二課長

局員

海軍省軍務局

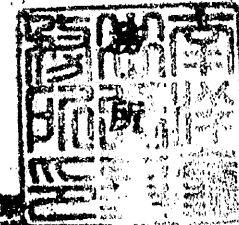
御中

南洋群島方面ノ調査ニ關スル件回答

七月四日附軍務機密第四五六號ノ二ヲ以テ照會相成候首題ノ件左記ノ通當廳内務部
長ヨリ回答有之候

記

- 一、「パラオ」西水道ノ航路標識ハ完全ニシテ航行上支障ナシ
- 二、英領「タラワ」及「マキン」方面ノ出入港及航泊ニ關シ調査方ヤルート支障ニ
移廉セリ

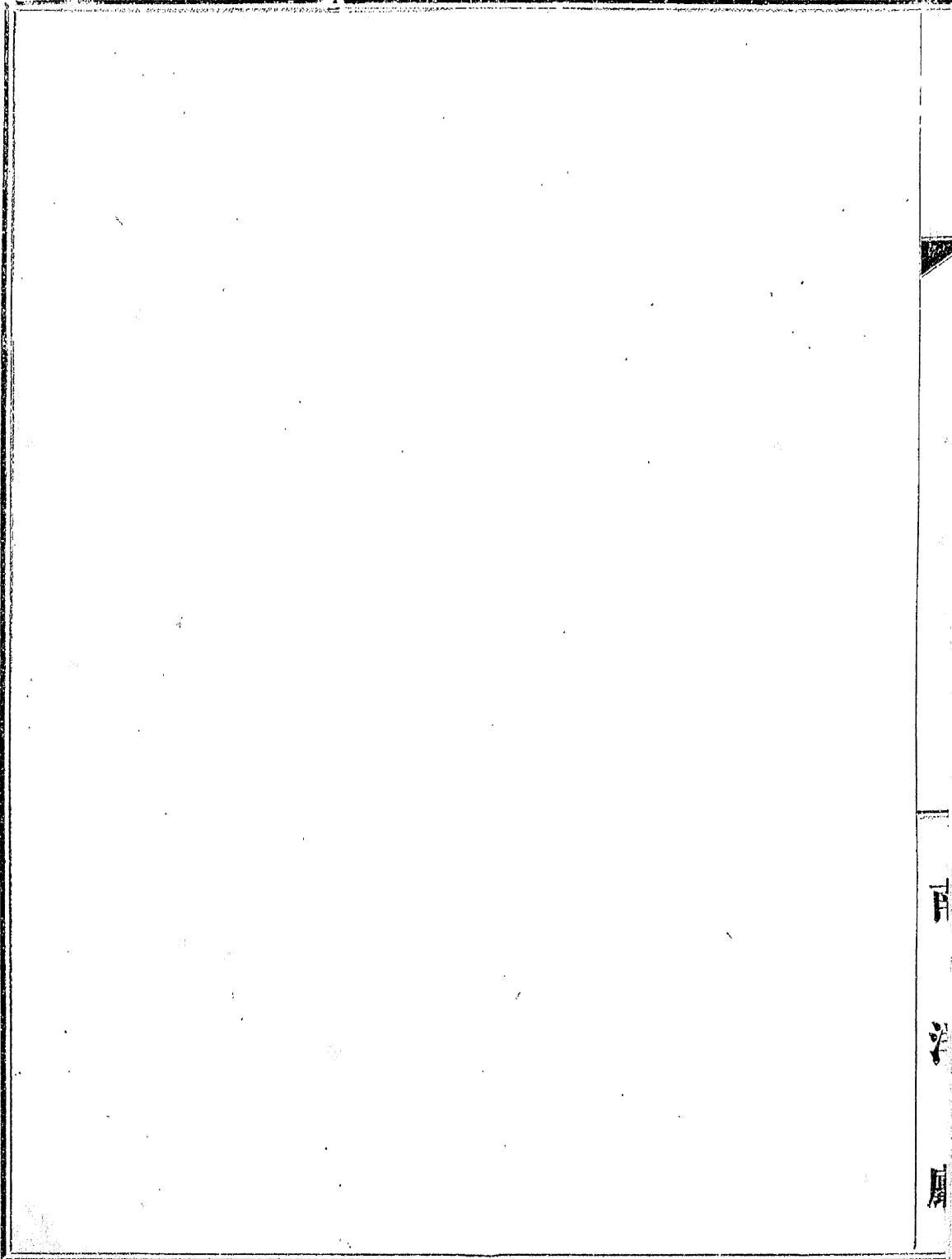


12月十一日

軍務局接受

南洋廳

0478



百
学
展

0479

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

65

軍務局長

第二〇三號

海軍

機造中葉十三行紙

大正十二年七月四日

軍務局長

南洋^{群島}在勤海軍部

七月四日 起
七時五分 發電

本會本日のハラオと看ノ予定、右ニツキ本日の南洋片
東京出張所、同地西水道、航路標識整備
入置ケル為念

終

(宮井納)

0480

軍務局長

第一課長

大正十二年七月 日

南洋方面出張所宛

海軍省軍務局

南洋群島方面調査ニ関スル件

七月四日發行

軍艦木曾今般南洋群島方面ニ行動ス事ト相

成候ニ付テハ先記ニ関シ予ノ調査及整備方關係ノ

筋ヲ御手達方可知御取計ノ上何有ノ義御回示相

煩度

右如合ス

一記

ハラオ、七月十六日頃入港予定西水通航路標識

軍務第四五號

(改非納)

現状調査

要るレハ相与ノ修理ヲ施スベト

二、英領ヲタラソレニマキシ（八月四日頃入港予定）ノ出入港

並ニ同方面航海ニ関スル調査

追テ第ニ部ノ件ハヤル止支方等ニ於テ貴方補助ノ

定期ハ汽船ノ交通便ニ^{（調査材料）}調査材料ヲ同於七月下

旬ヤル止看ノ際御提示ノ下ニ御取計ノ得度申添候

（出）

軍務局

軍務第四五六號

九五號

大正十一年七月一日

海軍省軍務局

木曾艦長



南洋群島方面ニ関スル件

本艦今回同方面巡航ニ就テハ保安上左記
可然南洋廳又ハ所在我艦船等ハ豫報
方至急御配慮ヲ得度
右御依頼ス

記

12.7. 9

0483

(一)「パラオ」西水道航路標識整備シ置クエト

(二)「ヤルット」支廳等へ英領「タラワ」「マキニ」へ出入

兼同方面航泊ニ関スル調査ヲ求メ置カレタキエト
(同方面ハ南洋支廳^補助ノ下ニ定期小汽船交通シ

居ル筈)

(英)

0484

266

三志

海軍

海軍

横濱半葉十三行洋紙

26

軍務局長

第一課長

大正十二年十月

軍務局長

軍需局長

横鎮、参謀長宛

由宮海峽^{方面}使用ノ航路浮標^{之件}ニ付、十月九日、

本年度由宮海峽^{方面}使用ノ航路浮標ハ不日

臨時海軍防備隊ヨリ費軍港^へ後送^シニ来ル予定ニ有之候

ニ付テハ現品到着ノ上ハ、特曹員^等軍港防務部^に委任^スカ

可然御取計相成度

右申進ス

追テ該浮標ハ先年度ニ於テ由宮海峽^{方面}用航路浮

軍第七八七號

宮井納

0485

標トク使用ノ見込ニシテ該標ノ懸備^等内^レラ然脚配
慮^レ得^レ度申^レ候^レ修

(送)

大正十二年十月

十月十七日
十月十九日
十月廿一日

事務局長

横濱海軍事務局長

浦賀海峽方面使用ノ航路標ノ関^レ件

本件ノ関^レ別^レ件ノ用^レ費^レ府^レ参^レ謀^レ長^レ宛^レ申^レ進^レ相^レ成^レ候^レ修^レ條^レ申^レ知^レ上^レノ秋^レ中^レ取^レ計^レ相^レ成^レ度

右通知^ス

別紙

添

(送)

軍第八八七號

宮井納

0486



軍務局 海軍部 印

畫 航路標識建設書類圖面及之類

聯シテ管所又ハ遞信省ト強復相候文書類ハ今

次覆災ノ岸全部燒失セシノ儀条テ御年數各其騰

水路 本作或御送付煩度及御依頼候

航路第六口難 照會 大正十三年十月十一日

航路標識管理所



12月7日

軍務局接受

澤房受

0487